

帝塚山学院中学校高等学校
平成26年度 学校評価報告書

校長 瀧山 恵

【教育目標】

「力の人」という建学の精神と、「人間として生きる力」を育てることをめざす「高い志」「豊かな感性」「他への思いやり」という3つの教育理念を踏まえ、他者とは異なる自己の存在を見いだし主体的に生きること、そして、それぞれの自立に向かって主体的に選択する力を持った、21世紀をたくましく生き抜いていく女性を育てる。

〈めざす学校像〉

- ・基礎学力を効果的につける授業
- ・「見る」「聞く」「感じる」に訴える、工夫された授業・学校行事
- ・高い創造力・自己表現ができる授業・環境整備
- ・主体的に考え、判断する授業・学校行事

【平成26年度の重点テーマと目標】

① 学校運営

重点テーマ…教育理念に基づいた学校運営

目標…教育理念に沿った教育目標を達成するため、より教育効果の高いコース制・専攻制を構築する。

② 教育内容

重点テーマ…一貫した指導体制の構築

目標…教育理念に沿った様々な教育活動の内容を再確認し、より効果的な指導体制をつくりあげる。

③ 生徒指導・支援

重点テーマ…組織的かつ一貫した生徒指導

目標…生活指導・学習指導・進路指導などにおいて、組織的でより効果的な指導体制を構築し、データに基づいた支援体制をつくりあげる。

④ 教員研修・資質向上

重点テーマ…計画的な研修体制の充実

目標…教員の資質向上の観点から、授業公開や授業研究会を含めた教員の研修体系、指導体制の充実をめざす。

【具体的な取組内容】

① 学校運営

昨年度の中1より、ヴェルジェコース3クラス、関学コース3クラスで展開、両コースとも引き続き、より効果的で、工夫された授業を展開し、主体性と探求心を育み学力を高める教育を実践した。自教室のみならず、特別教室や小教室にもプロジェクターが設置されたことにより、多くの教員がパソコンやタブレットを使用し、視覚や聴覚に訴える授業を実践できるようになった。今後は、全教室へのホワイトボード設置を推進していきたい。また、一部の中高教員の相互異動も引き続き行い、互いの教育内容、指導体制をより理解し、信頼関係をさらに深め、教育活動に活かせるようにした。

② 教育内容

情報教育としては、生徒にも保護者にも引き続き「ケータイ安全教室」を実施した。また、マナー指導や、性教育などを包括した広い意味での実際的な道徳教育として、「DLS 教育」(Decent Life Skill)の実施を研究し、実践した。今後、他のカリキュラムとも連携しつつ、6年一貫した真の道徳教育の実現に向けて研究実践を進めたい。人権教育についても、中高それぞれ講師を招いての人権講演会を実施し、人権尊重の意識を高めた。また、学校の生活環境を整えるために、日頃より校内美化にも努めた。読書推進についても、創研講座や中学の総合学習などの中で、様々な調べ学習を行うと同時に、中学の朝礼時に読書タイムを設けているため、図書館の利用率は引き続き高い状況にある。部活動については、ホームページでも、各クラブの活動を伝えるとともに、クラブ推進委員会が引き続き掲示板において、各クラブの活動状況を伝え、活性化に努めた。クラブの入部率は、年々向上し、大会でも活躍するクラブが増加している。体育行事(スポーツデー)、文化行事(学院祭)の各行事については、中高合同で行い、連帯感を高め、自主的な態度の育成を図った。ふえとだある(文化クラブ発表会)についても、今年度は中高合同で行い、より充実した内容で開催できた。

③ 生徒指導・支援

上述のような指導を行う中で、いじめに関しては、スクールハンドブックに「どのような行為がいじめに該当するのか」を詳細に記載することで学校の方針を示し、生徒に周知徹底して、いじめの未然防止に努めるとともに、早期発見により、芽の小さいうちにつみとり、トラブルを早期に解決するよう努めた。いじめ防止について、教員全体の研究の機会も設けた。今後もいじめ防止のための授業方法など、研究研修を続けていきたい。生徒指導については、組織として統一性、一貫性のある指導を実施できるよう指導方法と指導体制の構築を図った。指導内容の詳細を報告する「生徒指導カード」の活用も定着してきた。マナー教育の一環として、登下校時の学校周辺での指導も実施し、一定の効果を上げた。

学習指導については、生徒の主体性を育むため、引き続き中学校の総合的な学習や、高校の創研講座を実践した。キャリアから逆算した学部選択・進路選択に創研講座は大きく寄与している。レポート作成やプレゼンテーションなどのスキルの全体的なレベルは向上しており、今後は、他の授業においても実践できるようにしていきたい。中学校においては、基礎学力と学習習慣の確立をめざし、英語と数学における、習熟度別の授業を筆頭に、放課後のスローラーナー対策や、居残り学習、提出物の徹底など、担任と教科が連携し合いながら学習に対する姿勢づくりを実践し、成果が見られた。また、ヴェルジェプロジェクトやハイレベル講習を実施し、より高いレベルの進路実現ができる体制の確立を図った。大学進学後の学びに直結するパワーアップ講座も、やり方を改良し合理化を図った。高校の音楽・美術専攻生に対しては、実技講習なども引き続き行い、進路実現に向けてのサポートを行った。進路指導部による進路ガイダンスおよびきめ細かい面談などを通して、生徒の進路に対する意識やモチベーションのアップには改善が見られた。今後も生徒一人ひとりの進路実現に学校全体として取り組みたい。また、中学校の学力推移調査や高校の模試の資料を分析し、データに基づいた指導を行える体制づくりにも改善は見られたが、さらなる体制の構築を図りたい。

カウンセリング体制については、カウンセリングルームからカウンセリングだよりを出すなど、相談しやすい体制づくりを図っている。今後もカウンセリングマインドを取り入れた支援体制を構築していきたい。

④ 教員研修・資質向上

学期に1回、指定した教科の授業研究会も継続して行い、教科間の相互理解を図るとともに、

授業展開の工夫につなげる機会をもった。

【自己評価アンケートの結果と分析】

〈教員によるアンケート結果より〉

① 学校運営

中高教員間や教科間・コース間の相互理解については、若干改善されてはいるが、さらに情報交換の機会を増やし、相互理解を進める必要がある。また、職員会議をはじめ各種会議についても有効かつ効率的に機能するよう改善しつつあるが、さらに工夫する必要がある。

② 教育内容

リサイクルや省エネなど身近な問題から環境への意識をさらに高める教育に関してあまり達成できていなかった。また、ボランティア活動の推進についても検討する必要がある。

③ 生徒指導・支援

全体的には、達成できており、昨年度より若干改善している。今後もデータに基づく進路指導を計画的に進めていく体制をつくりあげる必要がある。

④ 教員研修・資質向上

授業見学会や授業研究会の継続的な実施により、教員間の授業内容を評価し、意見交換などを行う機会を持つことについては昨年度より改善されたが、今後も効果的な教員研修会を引き続き計画的に実施し、初任者が研修に参加できる機会を多く持てるような体制をつくりあげる必要がある。

〈保護者によるアンケート結果より〉

全体的には、昨年度とほぼ変わらず良い評価を得ているが、「学習指導」「宿題や補習」「進路指導」に関して、引き続きより良く改善していく必要がある。「学習指導」については、生徒への授業アンケート結果を教科で共有しているが、授業見学会、授業研究会を通して、より成果の上がる指導を検討し、各コースにおいても検討していきたい。また、「生徒指導」についても、「心の教育」を推進し、引き続きより成果が上がる教育を実践していきたい。

【学校評価委員会からの意見】

委員構成

- ① 帝塚山学院 評議員
- ② 税理士
- ③ 鉄鋼業会社役員
- ④ 不動産管理会社経営

〈自己評価の結果に関して〉

・学校運営について

教育理念などが、より明確になってきており、教職員・生徒・保護者にもよく浸透している。

教員が授業内容を個人的な見解で決めるのではなく、全学年を通して組織的にシラバスに準拠した授業を実施していただく傾向が増えているのではと考える。今後も各教員の個性を生かしつつ、学習指導要領に基づいたバランスのとれた授業を期待する。

中高教員間の相互理解、信頼関係、又、教科間、コース間教育方針の情報交換や相互理解については、教員間で信頼関係をさらに深めて頂きたい。また、各設置校間における有機的な機能強化に

についてもお取り組み頂きたい。

学校法人の経営指標や財務状況についての理解度が低い。教学面の取組は勿論であるが、経営・財務面の理解とこれらに関する意識は一般的に教学面へも影響すると考えられる。また、私立の学校では、経営や財務の問題は教職員の雇用や待遇に直結する事項であると考え。一般の企業と同様、業績を担っているのは教職員であり、ある程度、数字を意識する機会も必要かと思う。

危機管理の意識がやや低下している。東日本大震災の記憶も薄れがちになり、このままでは危機管理意識は低下する傾向になると危惧する。一定の頻度で教員、生徒も防犯・防災共に意識づけできる研修や訓練なども必要かと思う。一方、食糧の備蓄や、室内履物の改善、避難訓練の充実などに熱心に取り組んでいただいていることには深く感謝する。

・教育内容について

生活に必要なになっている情報ツールへの意識が高まっていることに注目している。遠ざけて、避けては暮らしていけないことを認識し、生徒達に弊害について周知し、安全に使いこなせるようにすることは、子供達に社会で必要な事項を教える家庭と学校の責務ではないかと思う。

一般的に充実した内容になってきていると思われるが、「環境への関心を高める教育」の達成度が大きく低下している点が気になる。

環境問題や美化意識の達成が進んでないように感じる。教員の努力もあって、かつてより校内の美化や備品に関する生徒の意識は向上していると思うが、さらに共用部の掃除も生徒主体で取り組むことで意識を向上させてはどうか。

人権尊重教育やボランティア活動の推進について、引き続き低い評価で推移している。本校の教育理念である「他への思いやり」の実践として、今後の具体的な施策立案を期待する。

・生徒指導・支援について

全ての項目について達成度も上がってきており良い方向。更なる達成率の向上に期待している。

生徒の生活指導が一貫した方針に従い、組織的に対応していることが、ほぼ達成と感じていることはありがたい。一貫したもの、組織的な対応を全てのことに希望する。

教員のご尽力のおかげで、ここ数年、風紀面の改善は目覚ましいものがある。今後も生徒（保護者）の質、世情の変化に合わせた指導をお願いしたい。生徒指導も教員の統一された基準に基づき行われているようで、不公平感が減少したように感じる。

進路指導は改善されていると思うが、多岐に亘る進路希望に対応するにはもう少し研究が必要なのではと感じる。今後、狭き門を抜けて合格した生徒や保護者の進路への期待はより高まるものと予想される。

・教員研修・資質向上について

初任者等に対するサポート体制に関する評価が低い。サポート体制は、早急に作る必要がある。本校の教育理念の実現に向け、経営面における環境整備が必要であると感じる。

中高間・教科間・コース間の教員の連携について、より効果的な情報交換や問題の共有が求められる。小学校や幼稚園、泉ヶ丘校などの各校との連携できて、一貫校の良さが引き立つので、中高の教職員間の情報交換、相互理解、信頼を深め、さらに教職員研修のプログラムとして系列他校の教職員との意見交換、相互の人事的交流が導入されることを期待する。

※参考・・・教員による自己評価アンケート結果

〈保護者によるアンケート結果に関して〉

様々な評価があるが、最後の項目を見ると、高評価となっており、8割以上の保護者が満足している状況が読み取れる。学校の取り組みは概ね保護者の支持を受け、進むべき方向を向いていると考えられる。今後とも、多方面からの情報を基に状況を的確にご判断いただき、ますますのご発展を祈念する。

学校全体に対する保護者の満足度は高い。ただ、学習指導や教員の連携については向上を望む声が多い。施設・設備に関しては、満足されていることが伝わる。1学年が7クラスになってもこの結果が続く事を願う。

概ね良好な評価をしている。最後の「この学校に入学させてよかったと思う」という項目の達成率が更に向上するよう法人全体で評価を共有し、現実に即応したさらなる建設的な取り組みが求められる。

※参考…保護者によるアンケート結果

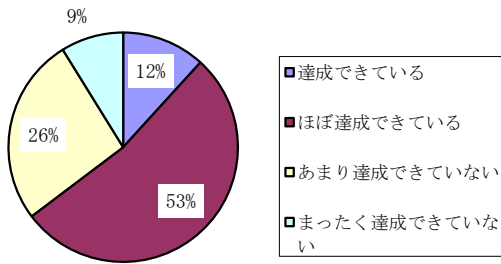
【学校関係者評価委員会からの意見を受けて】

各委員の方々から貴重なご意見を頂き、重く受け止めております。これらのご意見を踏まえ、教育内容をより充実させるべく、教員の資質向上に努めるとともに、教員間の連携を深め、新たな目標を定めて、学習指導、生徒指導、進路指導の向上に努めて参りたいと思います。

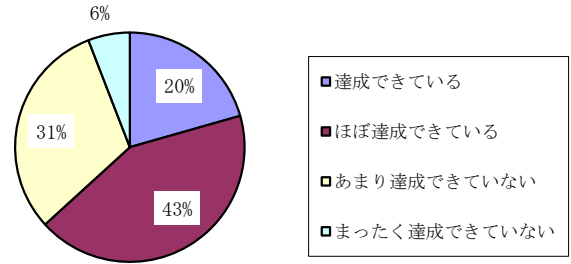
＜平成26年度 帝塚山学院中学校高等学校 教員による学校評価アンケート結果＞

＜学校運営＞

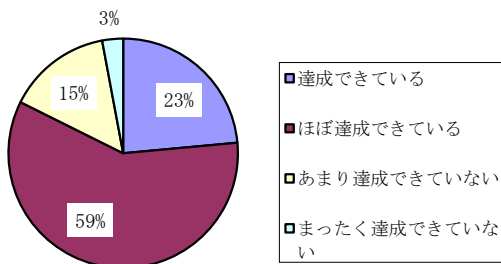
質問1 教育理念が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。



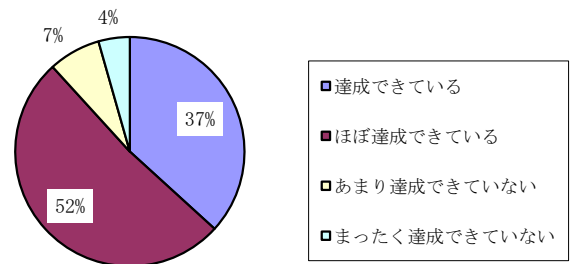
質問2 同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営に必要な応じた支援をあおいでいる。



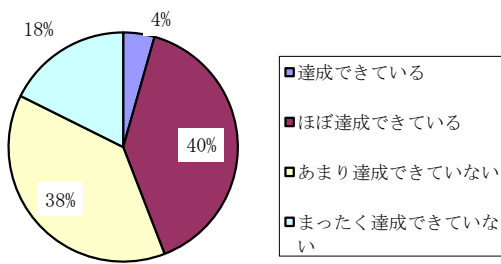
質問3 教育課程は学習指導要領に沿っている。



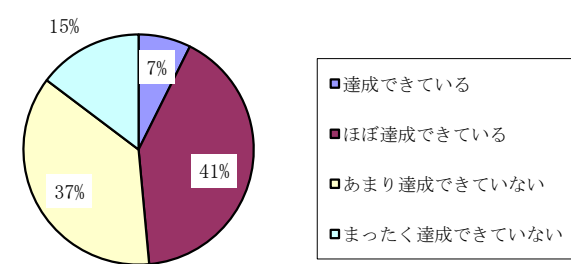
質問4 年間を通じた教育計画(シラバス)を各教科別を立てて実践している。



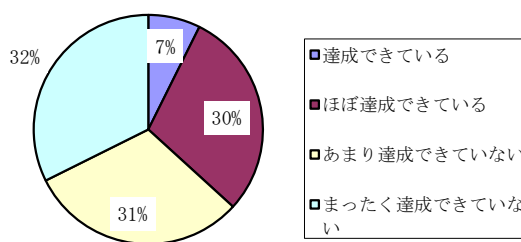
質問5 中高教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。



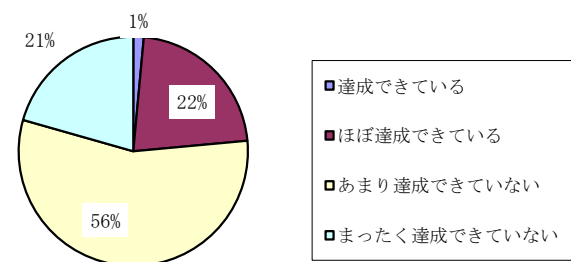
質問6 教科間・コース間教育方針の情報交換の機会があり、相互理解はとれている。



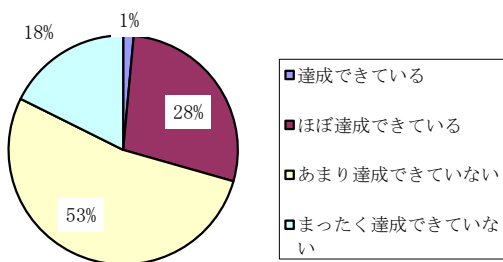
質問7 教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。



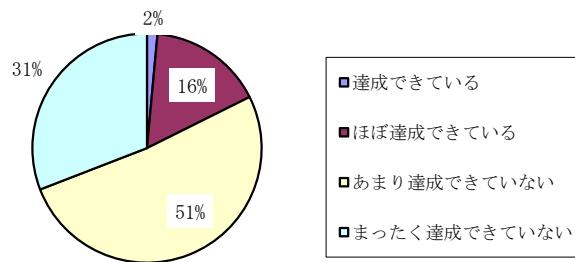
質問8 教職員全体が、学校の経営指標と財務状況について理解している。



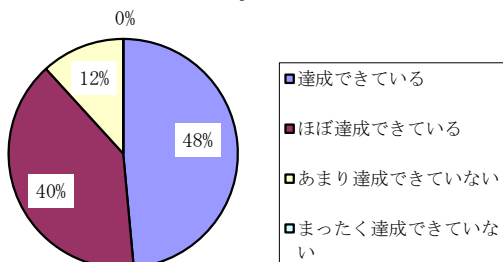
質問 9 教職員全体が、予算、決算の収支の状況について理解している。



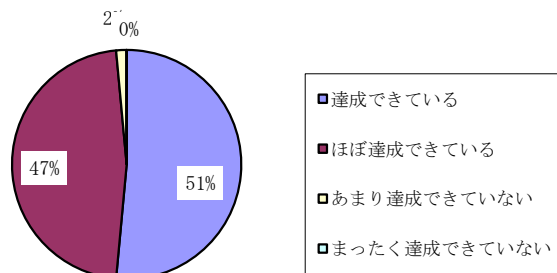
質問 10 教職員全体が、評議員会、理事会の役割や機能について理解している。



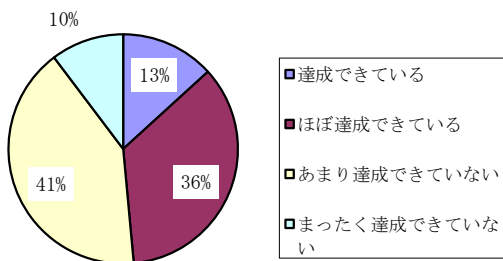
質問 11 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。



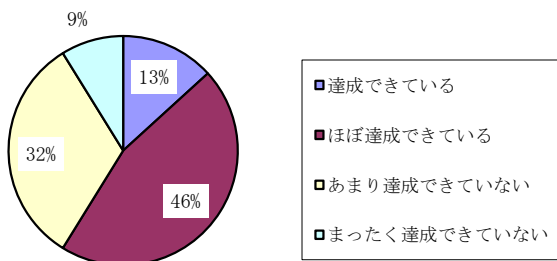
質問 12 保護者などへ授業を公開している。



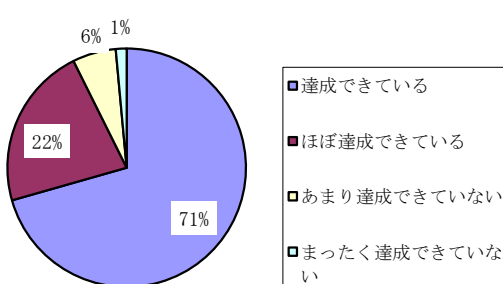
質問 13 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。



質問 14 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

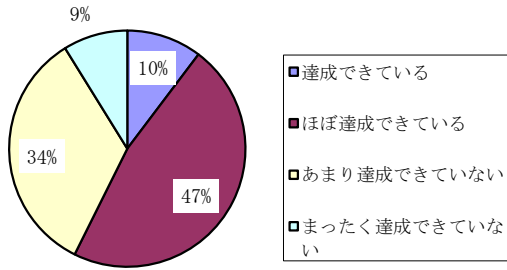


質問 15 入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている。

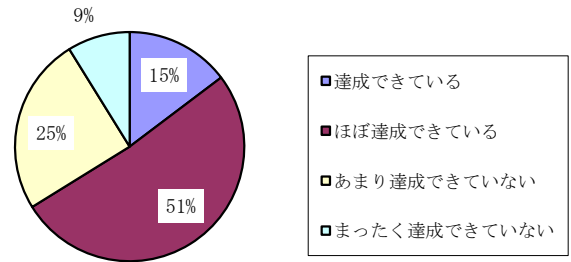


<教育内容>

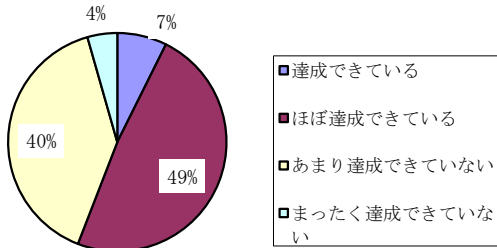
質問16 生徒の情報活用能力の育成を図っている。



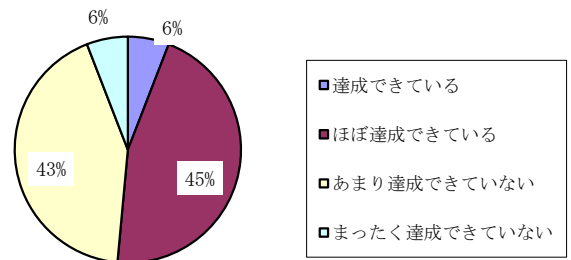
質問17 情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分に取り組んでいる。



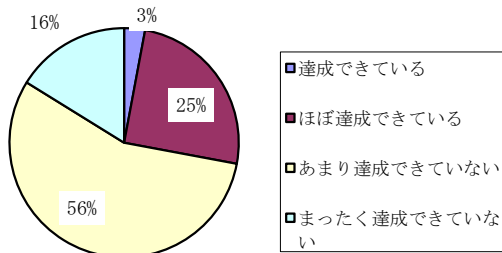
質問18 人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。



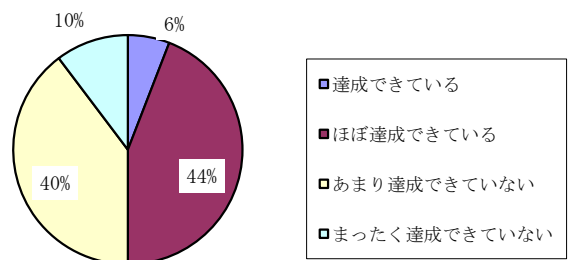
質問19 人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。



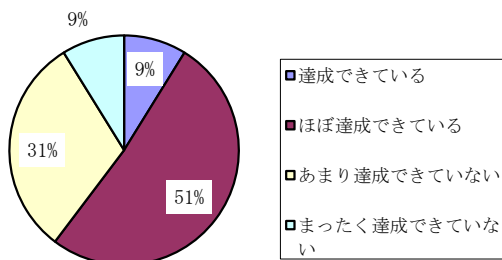
質問20 ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。



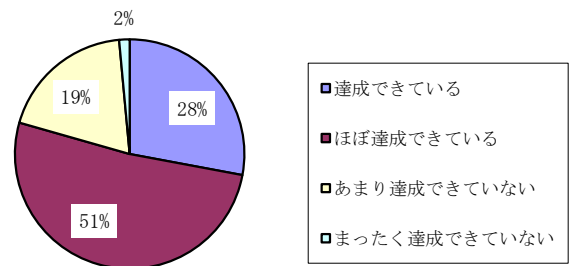
質問21 生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。



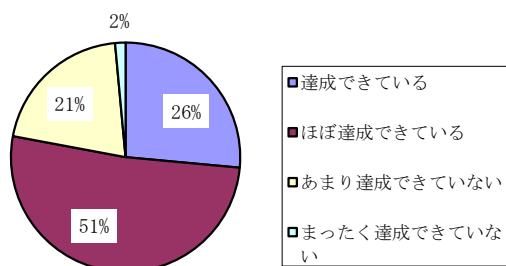
質問22 生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。



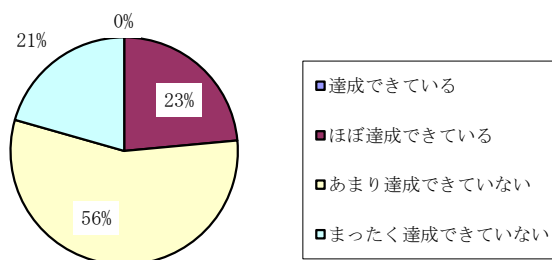
質問23 図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。



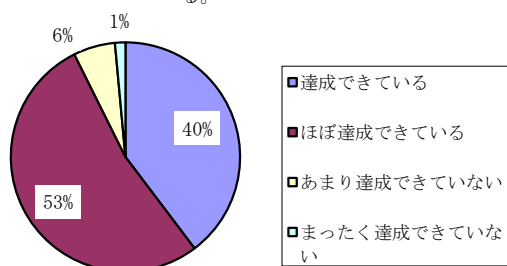
質問 2 4 部活動は活発に行われている。



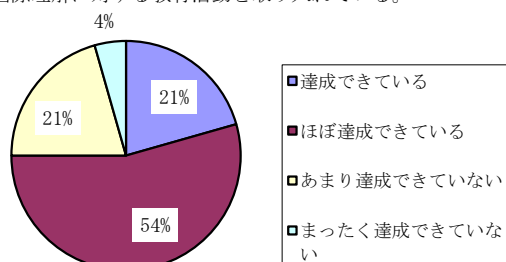
質問 2 5 ボランティア活動は活発に行われている。



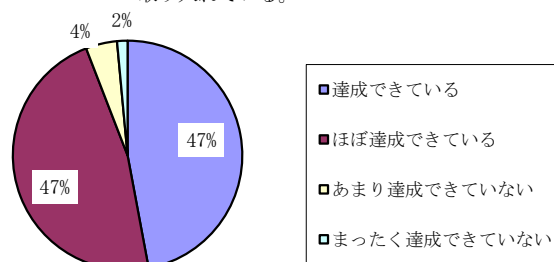
質問 2 6 体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。



質問 2 8 他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

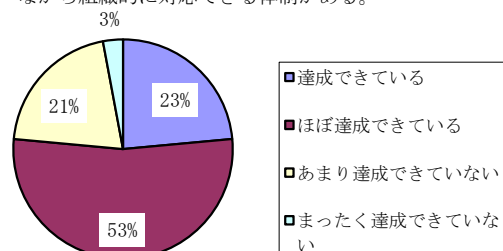


質問 2 7 スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

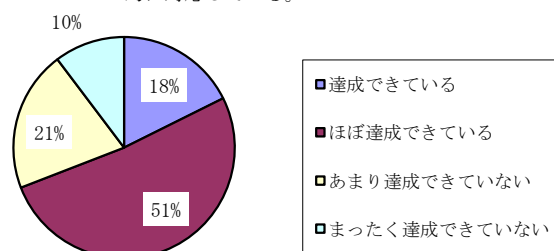


<生徒指導・支援>

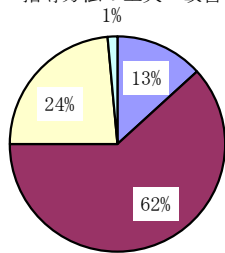
質問 2 9 いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある。



質問 3 0 生徒の生活指導に学校の一貫した方針に従い、組織的に対応している。

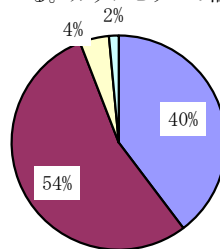


質問 3 1 学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。



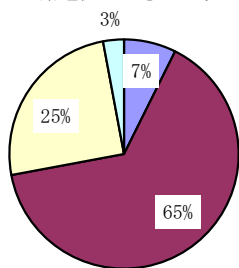
- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

質問 3 2 カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。カウンセラーの活用ができています。



- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

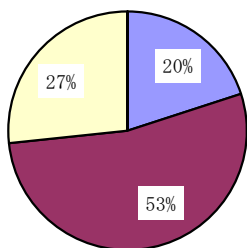
質問 3 3 生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。



- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

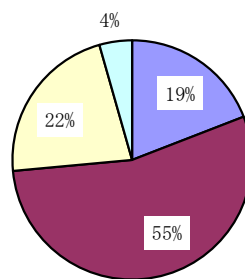
<教員研修・資質向上>

質問 3 4 教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。



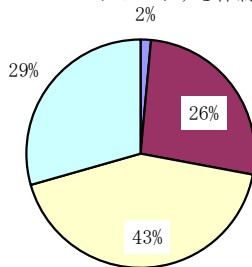
- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

質問 3 5 効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。



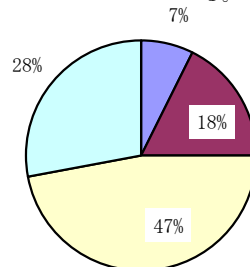
- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

質問 3 6 初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。



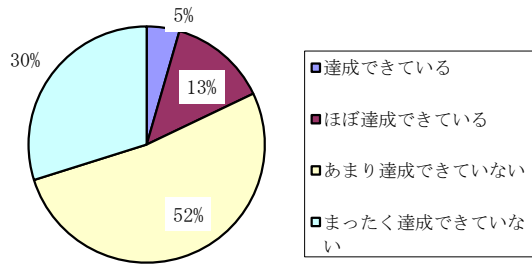
- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

質問 3 7 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。



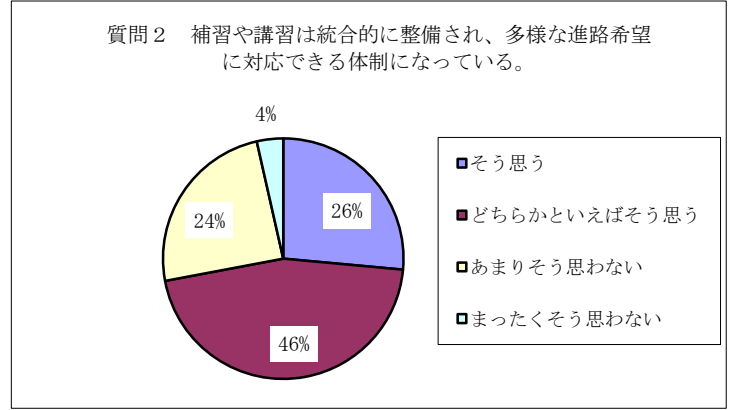
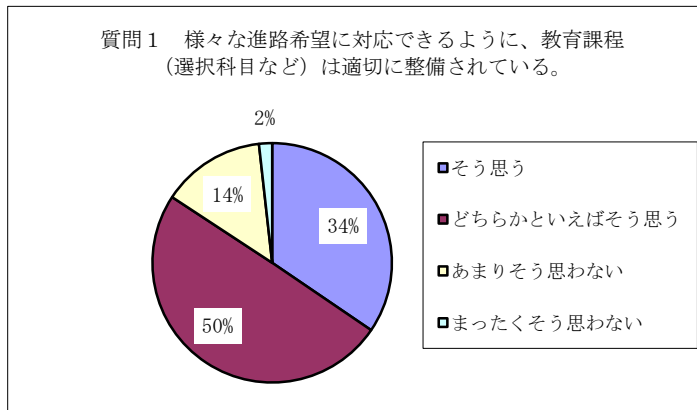
- 達成できている
- ほぼ達成できている
- あまり達成できていない
- まったく達成できていない

質問 3 8 研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

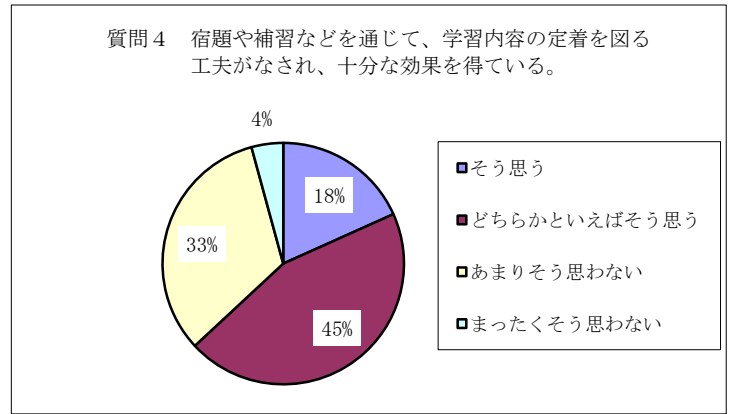
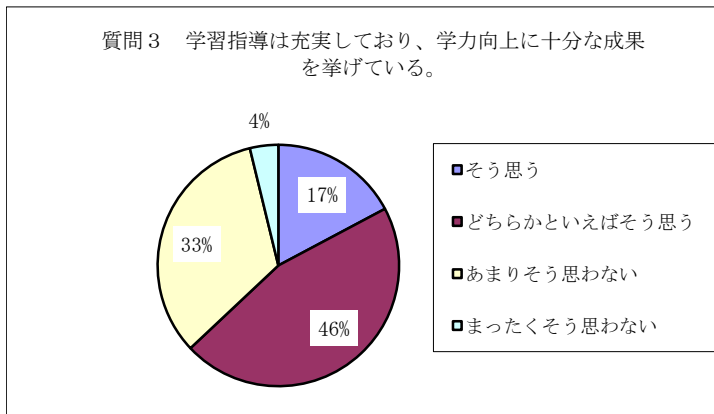


<平成26年度 帝塚山学院中学校高等学校 保護者による学校評価アンケート結果>

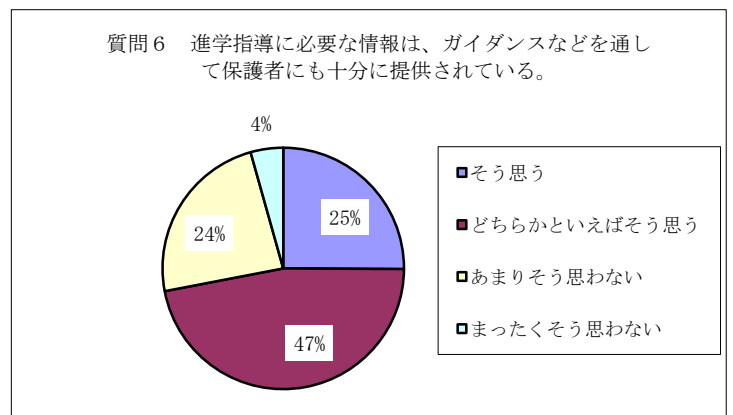
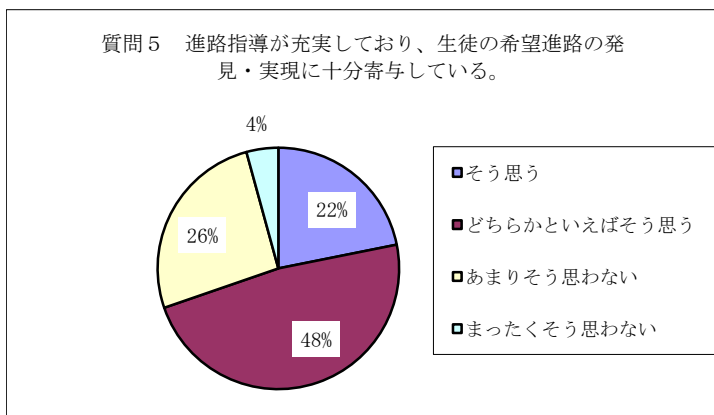
<教育課程>



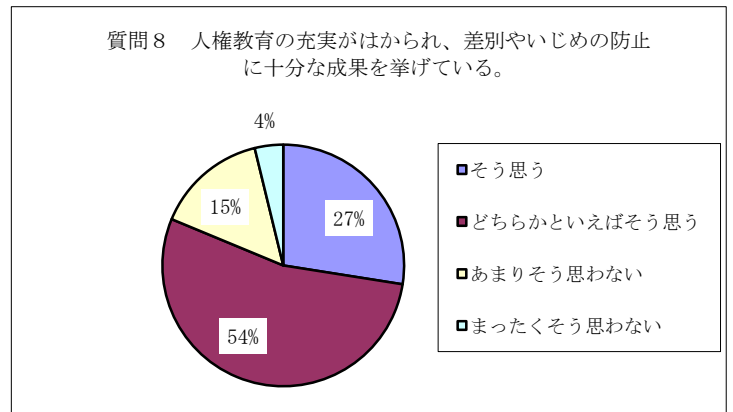
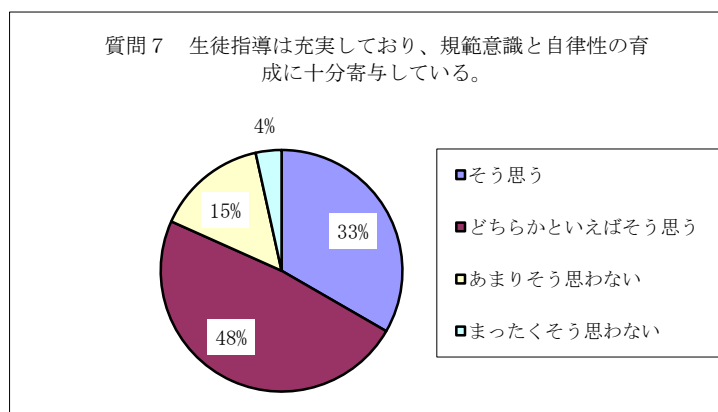
<学習指導>



<進路指導>

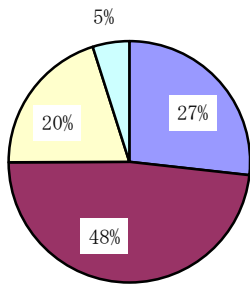


<生徒指導>



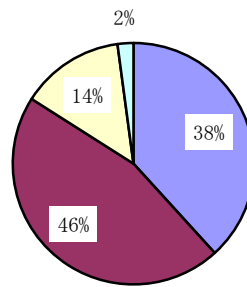
<課外活動>

質問9 部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

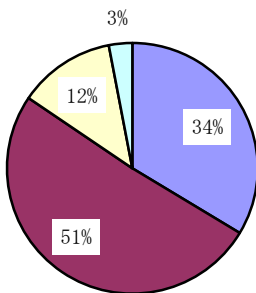
質問10 学校行事は充実しており、生徒の自主性の育成に役立っている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

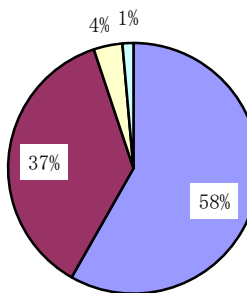
<安全管理>

質問11 登下校の安全や交通マナーに関する指導が、十分なされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

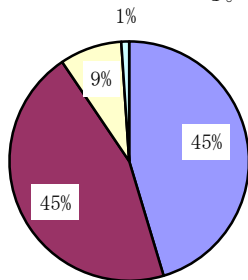
質問12 施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

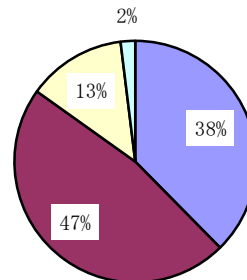
<情報発信>

質問13 授業参観やPTA行事は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

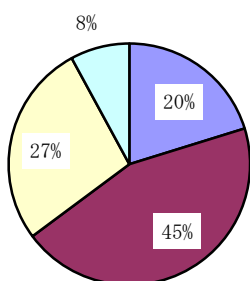
質問14 学校からのお知らせ文書などを通じて、必要な情報を不足なく得ることができる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

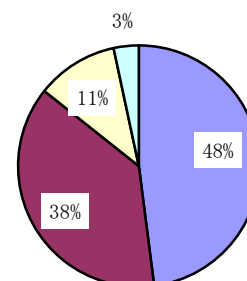
<その他>

質問15 教員はチームワークがとられており、どの教員に相談しても、一貫した対応が期待できる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

質問16 この学校に入学させてよかった（知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい）と思う。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない